

ペタバイト規模の超高品質なグローバル・マーケット・データにクラウド、オンプレミス環境の両方からアクセス可能 LSEG Tick history – PCAP

超高品質なグローバル・マーケット・データに時間や場所、方法を問わず自由自在にアクセスできます。

LSEG Tick History-PCAPは、取引所のデータ・センターで直接取得した極めて高品質なグローバル・マーケット・データを格納する、クラウドベースの30ペタバイト超のデータ・リポジトリです。市場の最良気配値やフル板情報(レベル1からレベル3まで)に関する、ロスレスなデータセットをご希望のフォーマットで提供します。クエリをLSEGのクラウドに送信し、必要なデータやあらかじめ設定された分析のみをシームレスに取り出すことで、帯域幅やコンピューティング・コストを削減できます。LSEG Tick History-PCAPを利用することで、ミッションクリティカルなアプリケーションやワークフローを超高品質なマーケット・データに基づいて運用することができます。

ロスレスなデータ取得とグローバルなカバレッジ

LSEGは、ロスレスなデータの取得を確実に行うために、データ取得プロセスを世界中の取引所のプライマリ・データ・センターおよびバックアップ・データ・センターに設置することによって、冗長性を維持しています。LSEG Real - Time-Ultra Directの独自のキャプチャ・テクノロジーを活用して、ナノ秒単位でデータにタイムスタンプを付与し、高度なデータ・アービトレーション技術でギャップを埋めます。データが合成されることはなく、全てのティック・データが含まれます。

LSEGの非常に広範囲なグローバル・カバレッジにより、米州や欧州・中東・アフリカ、アジア・太平洋地域をカバーする数百の取引ベニューの株式、オプション、デリバティブ、債券、FXなどのフィードにアクセスすることが可能です。コンテンツは、生データのPCAPまたはParquetやCSV形式のノーマライズデータで提供されます。企業ごとのニーズに最も即した形でデータをご利用いただけます。

複数のワークフローをサポート

データの使用方法には、フルデータセット、またはクエリ結果のみのご利用などいくつかあります。

データ・ファイル

過去データは日次で、イントラデイ・データは分単位で提供されます。データはSFTPまたはクラウド経由で自社環境に配信可能です。

1つのフィードの全てのコンテンツが含まれたデータ・ファイルを受信したい場合も、カスタム・データ・セットを作成したい場合も、生のPCAPまたはノーマライズされた形式で過去および現在のフィード・データをご利用いただけます。イントラデイ・データが必要な場合は、分単位のデータ配信を提供しています。さらに、高値、安値、終値、出来高、その他の市場統計のサマリーである取引終了時の統合ファイルを作成しています。お客様にデータ・ファイル経由でデータをご利用いただくために、LSEGは責任を持ってデータを取得・配信します。一方、お客様はそのデータを自社環境内で管理・照会することができます。



LSEG Tick History Workbench

LSEG Tick History Workbenchはクラウドベースですぐに使用できる分析環境です。LSEG Tick History –PCAPの分析や抽出のためのクエリも、あらゆる環境に対して実行できます。

Tick History Workbenchには次のような柔軟性とメリットがあります。

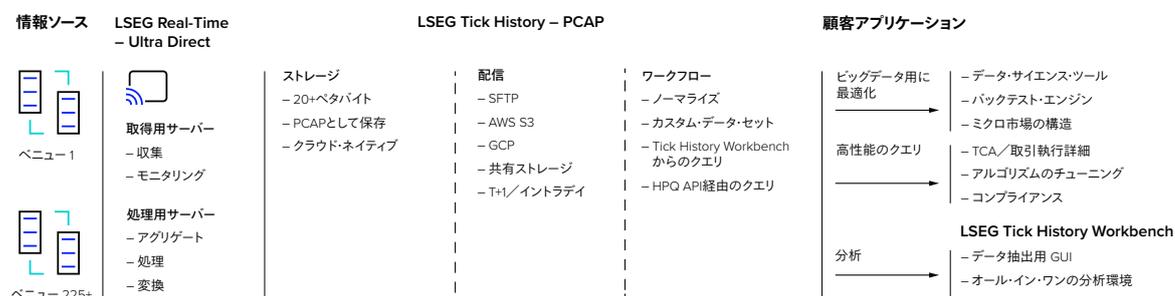
- Tick History–PCAPのクエリのオーケストレーションのための直感的にわかりやすいGUI。Tick History –PCAPへのクエリを実行する定期的なジョブを設定し、結果の保存先を特定。Tick History Workbench内でクエリの結果の分析を行うことや、それらを自社のクラウドまたはオンプレミス環境へ抽出することも可能
- 手間のかからないデータ分析–LSEGがデータの取得、配信、保存を管理
- S3バケットなど、さまざまなソースから自社のデータをアップロード可能
- 市場構造のリサーチ、取引コンプライアンス・チェック、TCAなどさまざまな用途をサポート
- レポートや3D表示のエクスポートで、Tick History Workbenchユーザー間での結果共有が容易に
- Streamlit.ioを活用してインタラクティブなUIとダッシュボードを作成し、カスタム・サブドメインのサポートを利用してLSEGの常時稼働中のホストへ展開可能
- クラウド活用に関する複数の選択肢–LSEGのフル・マネージド型クラウド環境上で作業するか、Tick History Workbenchを自社のクラウド環境へ統合して、既存の管理ポリシーやセキュリティ・ポリシーを活用可能

クエリ対応のサービス

データ管理の煩雑さを避け、LSEG Tick History–PCAPにクエリを送信できます。LSEGのクエリ対応のサービス、AWS (EMR、Sparkなど)を利用して、Tick History –PCAPにクエリを送信し、必要なデータだけを使用できます。LSEGは、ビッグデータ・クエリやターゲット・クエリのために最適化されたサービスを利用してエンドポイントからデータを照会する機能を提供しています。ビッグデータのクエリについては、LSEGはParquet形式のデータのSQLベースのクエリをサポートしています。Parquetがデータ・サイエンス・ツールに幅広く採用されているため、LSEG Tick History –PCAPのコンテンツを自社の分析ワークフローに容易に統合できます。

ターゲット・クエリについては、LSEGのHPQ APIによって、詳細なデータをほぼリアルタイムかつ、お客様が選択した正確な時間間隔で照会するため、帯域幅やコンピューティングのためのリソースを削減できます。生ティック・データのほかに、TWAP、VWAPに関して事前設定された計算や、仮定の注文完了時間にアクセスできるため、TCA、オーダー・ルーティング分析、ボラティリティ・フィッティング、トレード・デスクのサポート、リスクに関するさまざまなワークフローを非常に効率よく強化できます。

LSEG Tick History–PCAPの活用方法



その他の製品およびサービス

- [LSEG Real-Time – Ultra Direct](#)
- [LSEG Tick History](#)
- [LSEG Quantitative Analytics](#)



LSEG DATA & ANALYTICS